

雍也第六

子曰、人之生也直。
罔之生也幸而免。

し い ひと い なお
子曰わく、人の生くるや直ければなり。
こ な い さいわい まぬか
之れ罔くして生くるは、幸にして免るるなり。

(6-137)

<子曰わく、人の生くるや直ければなり>

Q : 「子曰わく、人の生くるや直ければなり」とは何ですか。

A : (1) 「孔子が言った。人が生きている価値は、正直だからである」の意。

(2) 「人がこの世に生まれていられるのは直、すなわち、すなおさによってである」の意。

(3) 「直」とは、誠、正義、すなおさ、正直。

<之れ罔くして生くるは、幸にして免るるなり>

Q : 「之れ罔くして生くるは、幸にして免るるなり」とは何ですか。

A : (1) 「もしも、正直さが無くて生きている者があるとしたら、まさに偶然の幸いで、不幸から免れて生きているにすぎない」の意。

(2) 「この直、すなわち、すなおさがなくて、生きていけるのは、まぐれにさいわいを得て、難を免れたというものだ」の意。

(3) 「幸」とは、^{きょうこう}僥倖、ほとんど期待できないような幸運(僥幸とも書く)。

(4) 「免」とは、禍を免れる、天罰を免れる。

(5) 孔子のこの言葉の内容が、哲学的な発達をとげて孟子の性善説へと展開していく。